

## 第3章 解決すべき課題の抽出

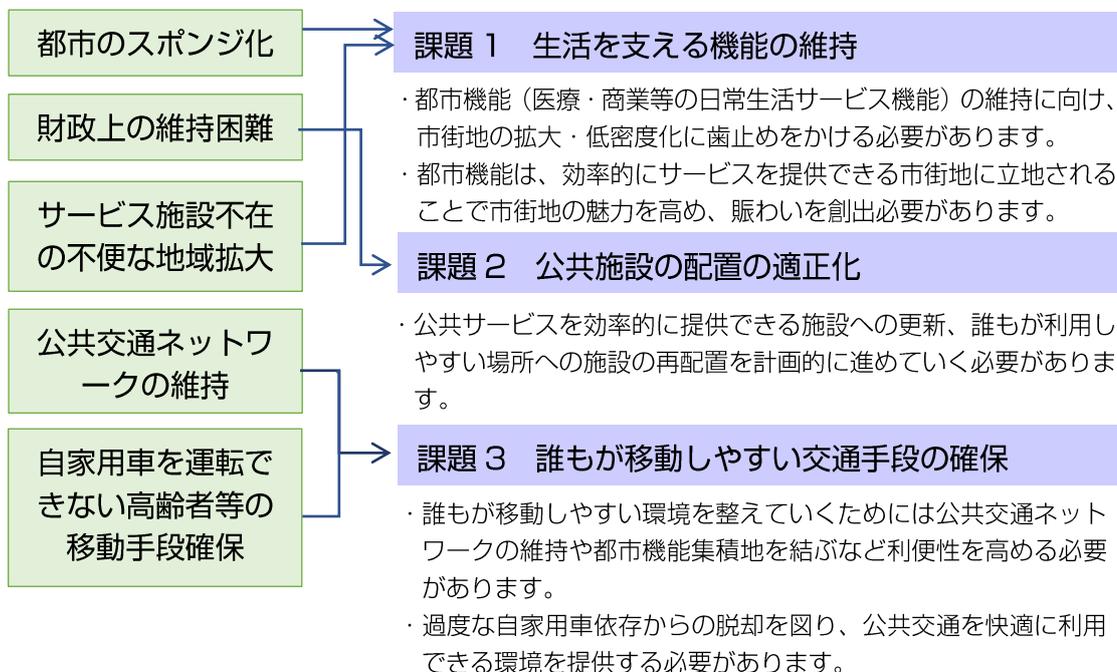
本章では、第2章で整理した都市構造の現状からみた問題点に対し、解決すべき課題を抽出し整理します。

- ▶ 3-1 問題点に対応した解決すべき課題の整理
  - (1) 生活環境の問題点に対する解決すべき課題
  - (2) 住環境の問題点に対する解決すべき課題
  - (3) 防災上の問題点に対する解決すべき課題

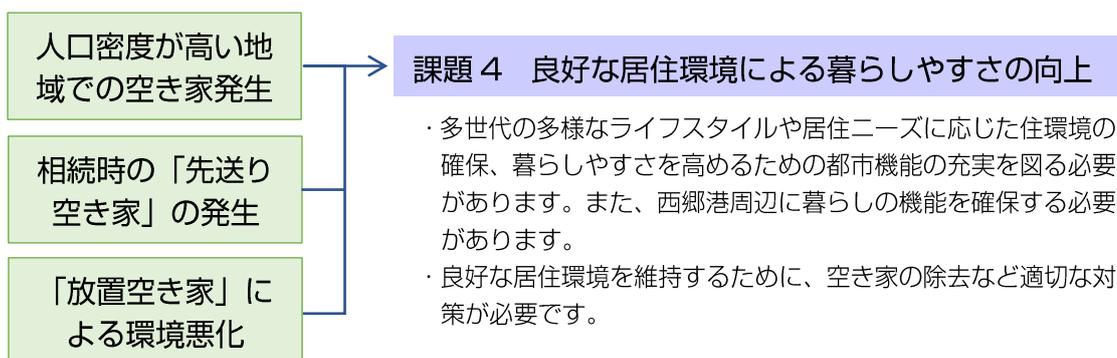
## 3-1 問題点に対応した解決すべき課題の整理

都市構造の分析結果から見た問題点に対する解決すべき課題は以下の通りです。

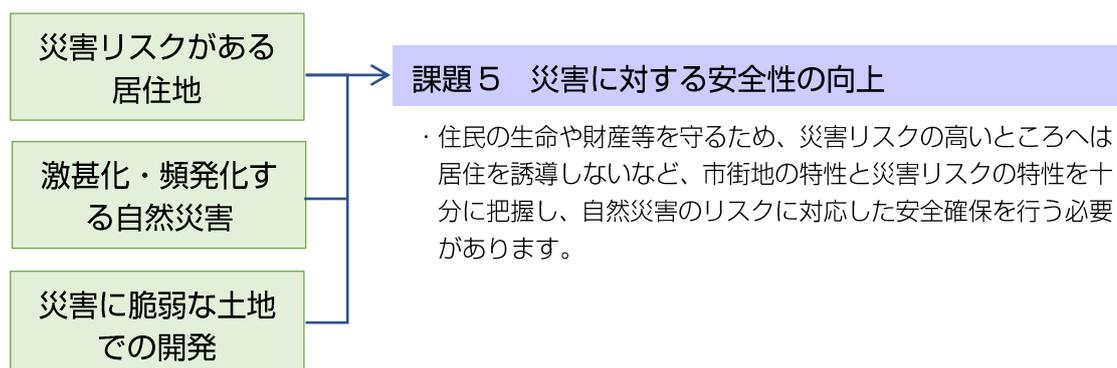
### (1) 生活環境の問題点に対する解決すべき課題



### (2) 住環境の問題点に対する解決すべき課題



### (3) 防災上の問題点に対する解決すべき課題



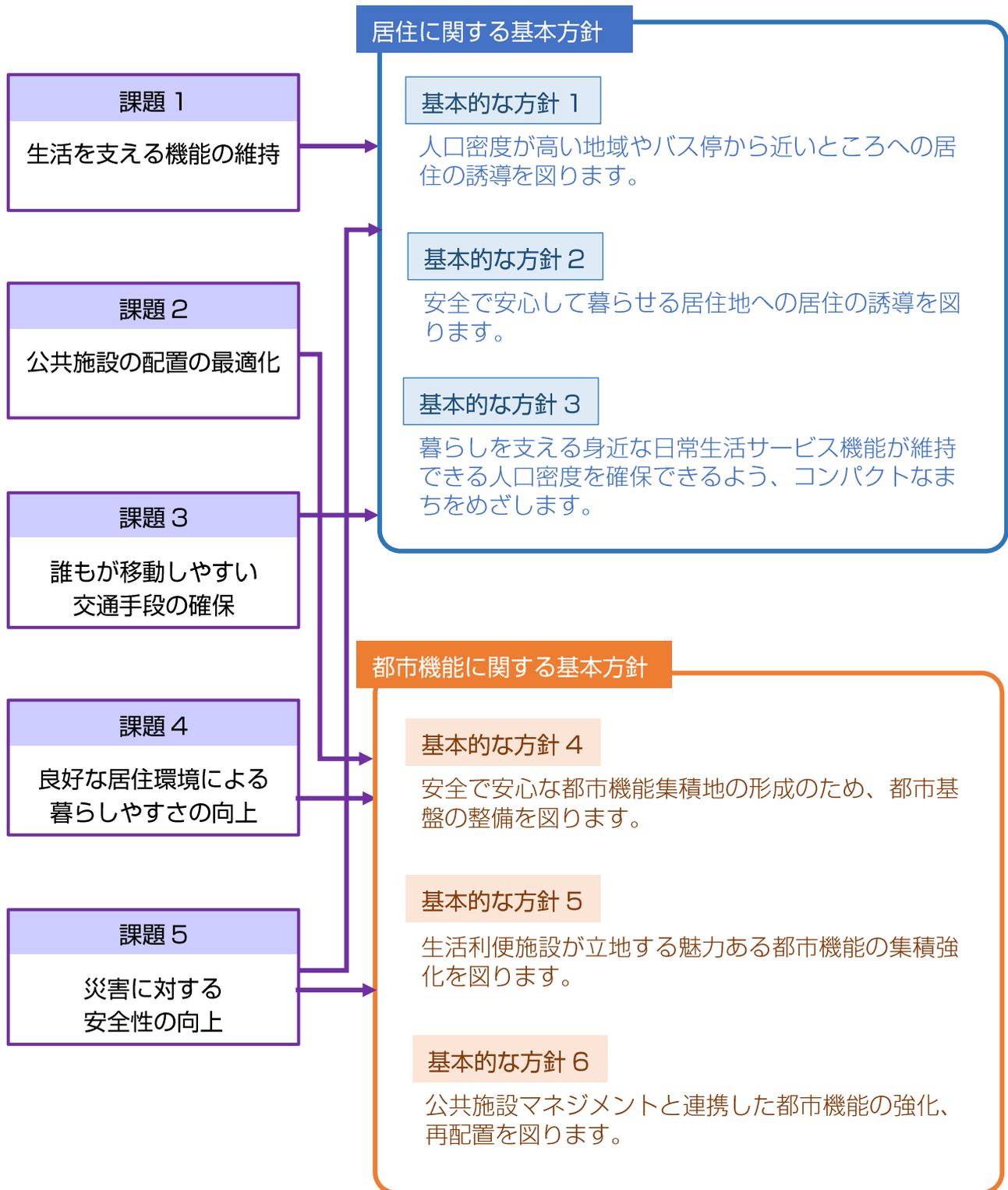
## 第4章 将来都市構造 (都市計画区域および町全体の考え方)

本章では、都市計画区域内の目指すべき方向性からまちづくりの方針と施策などを整理します。また、都市計画区域以外の町全体との関係についても考え方を整理します。

- ▶ 4-1 立地適正化の基本方針
- ▶ 4-2 目指すべきまちづくりの方向性
- ▶ 4-3 ターゲット（まちづくりの方針）
- ▶ 4-4 ストーリー（施策と誘導方針）
- ▶ 4-5 都市計画区域と町全体との関係

## 4-1 立地適正化の基本方針

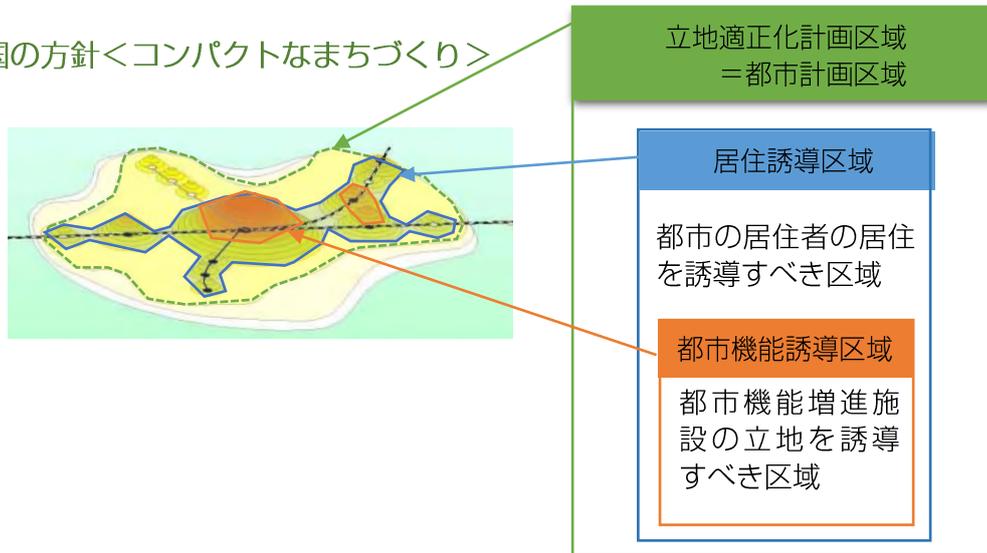
まちづくりの課題解決に向け、立地の適正化に関する基本的な方針を定めます。



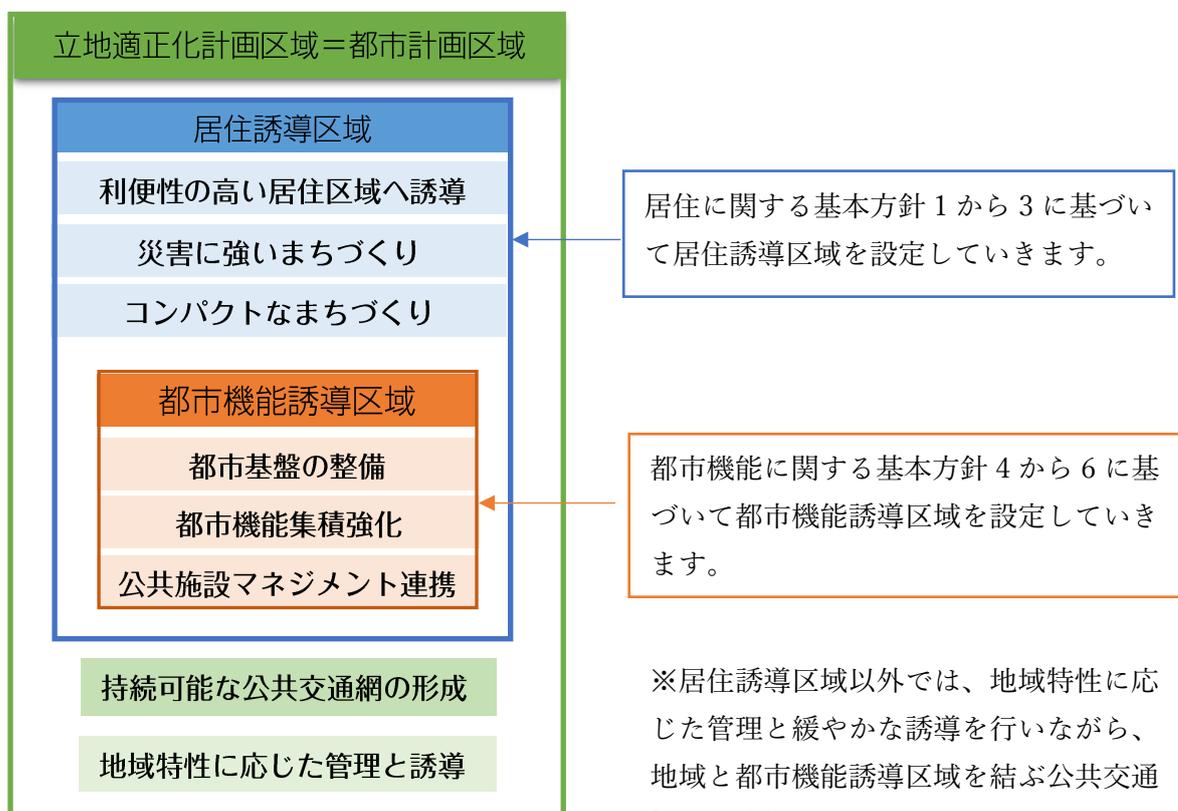
## 4-5 目指すべきまちづくりの方向性

立地適正化計画では、国の方針に沿ったコンパクトな都市の実現に向け総合的なまちづくりを計画的に実現していきます。都市部で暮らす利便性の高さや、郊外で暮らす生活環境の維持についても考えながら、隠岐の島町における目指すべきまちづくりの方向性を整理します。

### ●国の方針<コンパクトなまちづくり>



### ●隠岐の島町における立地適正化の基本方針とまちづくりの方向性



### 4-3 ターゲット（まちづくりの方針）

町内の多くの人が集う「西郷港周辺（エントランス）」と、「八尾川沿いと国道沿線の商業施設周辺（セントラルエリア）」を一体的に整備することで、まちの心肺機能を高め、ひと・もの・情報の流れが行き渡るようにして、その効果を広く波及させます。

※西郷港は、年間 27 万人、1 日あたり 800 人の人が利用しています。

※隠岐病院は、新型コロナウイルス発生前の R1 年度の外来者数が 1 日あたり 470 人です。



図 4-1 エントランスとセントラルエリア図

## 4-4 ストーリー（施策と誘導方針）

### ストーリー①

エントランスとセントラルエリアに都市機能を集積させることで、広域からの集客により賑わいを生み、暮らしの質を高める拠点を形成します。



### ストーリー②

エントランスとセントラルエリアの都市機能とその周辺は、徒歩や自転車で生活できる利便性の高い居住地として、誰もが安心して暮らせる住環境の形成を実現していきます。



### ストーリー③

エントランスとセントラルエリアへは誰もが気軽に移動できるよう、公共交通ネットワークの維持・拡充を行っていきます。



## 4-5 都市計画区域と町全体との関係

都市計画区域内の都市機能が強化されることは、人のからだに例えると「**心肺機能が高まる**」ことです。

心肺機能が高まれば**体中に血液によって栄養と酸素が運ばれ、身体全体が元気になります**。

つまり、町内の多くの人が集まる都市機能集積地を元気にすることで、町全体が活性化すると考えのもと、都市機能の強化を図ります。

隠岐の島町は、都市計画区域内の機能強化と都市計画区域外での各地域内拠点の魅力化、さらには各地域内拠点と都市機能集積地を結ぶ公共交通を確保することで町全体のネットワークをつくります。

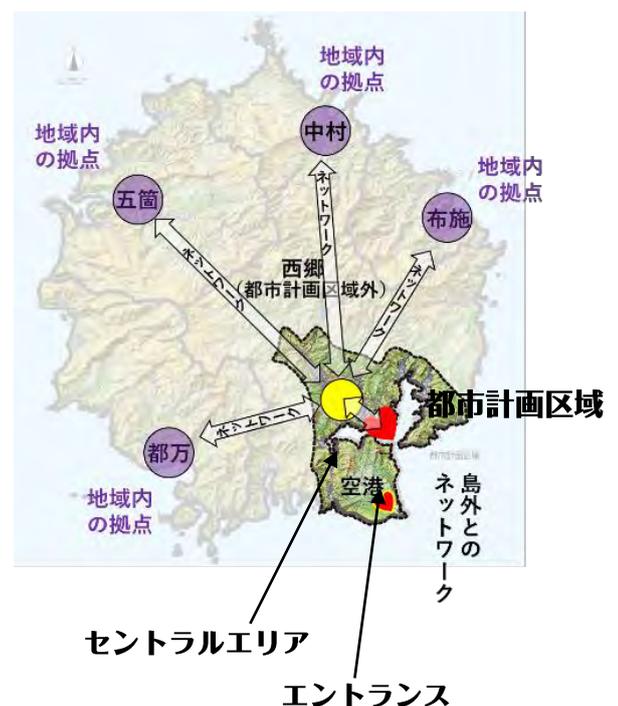


図 4-2 町内ネットワーク図